

## 【過去の技術士第二次試験を振り返るための質問書】

過去に受験した技術士第二次試験を振り返るための質問書を作成しました。以下の5項目に関して27問の質問があります。

確認事項1：受験に対する意識を確認する。

確認事項2：受験勉強方法を確認する。

確認事項3：受験勉強の時間を確認する。

確認事項4：答案を書くことを確認する。

確認事項5：不合格の原因と受験勉強方法などの改善点を確認する。

### 【回答に対しての注意事項】

質問に対する具体的な回答をノートなどに書いてください。具体的な回答を書くことで、不合格の原因や受験勉強方法などの改善点が明確になります。

【例】：「Q2：Q1で、『目的を明確にした』と回答した場合、その目的は何か？」

△：技術士の資格を取得後、会社を退職して独立するため

○：技術士の資格を取得して会社を退職し、技術士第二次試験の受験指導をする技術士事務所を立ち上げるため

## ■ 確認事項 1 : 受験に対する意識を確認する。

Q1: 過去の試験では、技術士第二次試験を受験する目的を明確にして勉強をしたか？

Q2 : Q1 で、「目的を明確にした」と回答した場合、その目的は何か？

Q3: 過去の試験では、受験の目的を達成するためにどのようなことを目標としたか？

【例】 仕事で帰宅時間が遅くなっても、平日は、毎日必ず2時間以上勉強をすること

Q4: 今回の試験では、受験の目的を達成するためにどのようなことを目標とするか？

Q5 : 過去の試験では、「今年は絶対に合格する！」という強い気持ちを持って勉強をしたか？

Q6 : Q5 で、「強い気持ちを持って勉強をしなかった」と回答した場合、なぜ、強い気持ちを持てなかったのか？ 強い気持ちを持つためにはどうしたらよいか？

## ■ 確認事項 2 : 受験勉強方法を確認する。

### ◆ 受験指導の有無の確認

Q7 : 過去の試験では、受験指導を受けたか？

\* 受験指導とは、有料（無料）の受験指導あるいは社内での受験指導のことを指す。ここで、社内での受験指導とは、社内で開催する勉強会や社内の技術士による添削指導などを対象とする。

Q8 : Q7 で、「受けた」と回答した場合、その指導内容は勉強をするうえで役立ったか？

Q9 : Q8 で、「役立った」と回答した場合、今回の試験でも同じ受験指導を受けるのか？ 今回は別の受験指導を受けるのか？ あるいは、今回は受験指導を受けないのか？ 各回答に対する決定期理由は何か？

Q10 : Q8 で、「役立たなかった」と回答した場合、なぜ、役立たなかったのか？ 役立たなかった理由は何か？

Q11 : Q7 で、「受けなかった」と回答した場合、今回の試験は受験指導を受けるのか？

Q12：Q11で、「受ける」と回答した場合、どのような受験指導を受けるのか？ その受験指導を選択した理由は何か？

#### ◆必須科目に関する受験勉強方法の確認

Q13：平成31年度の試験から、必須科目の試験方法が択一式試験から記述式試験に変わる。記述式試験に対してどのような方法で勉強をするのか？

【例1】：有料の受験指導の教材に沿って勉強する。

【例2】：予想問題を考えそれに基づき勉強する。なお、過去問を分析することやウェブサイトサイトでの情報を調べたりすることで予想問題を考える。

#### ◆選択科目に関する受験勉強方法の確認

注)：平成31年度の試験からの「問題解決能力及び課題遂行能力」の問題は、平成30年度までの「課題解決能力」と類似した出題内容になることを前提として質問を設定する。

Q14：過去の試験での各試験科目に対する勉強方法を具体的に書く。

(1) 専門知識

【例】

①過去問を分析することで、過去にどのようなキーワードの問題が出題されているのかを調べた。また、そのキーワードに対して何を解答するのかも調べた。

②①での過去問の分析結果に基づき、頻出項目（頻出キーワード）および自分の弱点の項目（例えば、液状化関連）を確認した。また、過去問の分析結果やウェブサイトからの情報を参考にして予想問題を考えた。

③②で確認した頻出項目および自分の弱点をまず集中的に勉強した。具体的には、専門書などの教材（例えば、液状化対策工法：地盤工学会編）を読み、頻出項目および弱点の項目に関する専門用語のポイントをノートにまとめた。

④予想問題に対する模擬答案を社内の技術士に添削してもらった。

(2) 応用能力

(3) 課題解決能力

Q15：今回の試験では、Q14の回答としてまとめた勉強方法と同じ方法で勉強をするのか？ あるいは勉強方法を修正するのか？

Q16：Q15で、「勉強方法を修正する」と回答した場合、なぜ、修正するのか？ 具体的には、どの試験科目に対してどのように修正するのか？

■ 受験勉強の時間を確認する。

Q17：過去の試験では、受験勉強の時間を十分に確保できたか？

Q18：Q17で、「確保できなかった」と回答した場合、なぜ、確保できなかったのか？  
今回の試験で受験勉強の時間を確保するためにはどうしたらよいか？ 具体的に1日の中（平日および休日）でいつ勉強するのか？

■ 答案を書くことを確認する。

Q19：過去の試験では、時間内で解答を書くことができたか？

Q20：Q19で、「できなかった」と回答した場合、なぜ、時間内で解答を書くことができなかったのか？ 時間内で解答を書くためにはどうしたらよいか？

Q21：過去の試験では、所定の枚数以内で解答を書くことができたか？ すなわち、答案用紙のマス目が余ったり、マス目が足りなくなったりしなかったか？

Q22：Q21で、「できなかった」と回答した場合、なぜ、所定の枚数以内で解答を書くことができなかったのか？ 所定の枚数以内で解答を書くためにはどうしたらよいか？

Q23：時間内かつ答案用紙の所定の枚数以内で解答を書くため、日々の受験勉強の中で意識することは何か？

Q24：過去の試験で、頭の中にある解答が整理できず、答案用紙に自分の考えを的確に書けなかったことがあるか？

Q25：Q24で、「ある」と回答した場合、頭の中にある解答を整理し、答案用紙に自分の考えを的確に書くためにはどうしたらよいか？

■ 確認事項5：不合格の原因と受験勉強方法などの改善点を確認する。

Q26：過去の試験で不合格になった原因を簡潔に書く。

Q27：不合格の原因を取り除くための方法（受験勉強方法などの改善点）を簡潔に書く。

以 上